

# 女川民報

日本共産党女川町委員会の見解と政策を紹介します。

2009年  
1月号  
日本共産党  
女川町委員会  
(53)3614  
(54)2562  
ご意見・ご要望をお寄せ  
ください

## 新年にあたって 希望と温かさ 切り開く年にしましょう

### 日本共産党の前進で 人間らしく働ける社会を 暮らしてゆける賃金を



東京都千代田区の日比谷公園に労働組合や市民団体が「派遣切り」など労働者の大量首切りで仕事と住居を失った人々を支援するため、「年越し派遣村」を開設（昨年十二月三十一日）しました。この間、失業した派遣労働者ら500人が駆け込みました。またのべ1700人のボランティアが集い、「政府の責任で対策を」と迫り、社会的連帯で働く人々の反撃はじまりました。

（写真は、労働者を励ます日本共産党志位和夫委員長）

衆議院議員(比例東北選出)  
高橋ちづ子(談)



昨年は内陸地震、原油高騰、派遣切りや中小企業の廃業、そして農漁業守れと、宮城の各地を歩き、国会で地元の声を発言し、対策を求めました。今年には必ず選挙があります。大企業にもが言える政党を伸ばしてこそ、国民の暮らしが守れます。必ず三選を果たし、これからも皆さんと力をあわせて働きたい。全力でがんばります。

比例代表は「日本共産党」と政党名で

衆議院 制度解説 ※比例代表は、候補者名では無効になります  
○小選挙区は候補者名で投票します

### 十二月議会

昨年に続き福祉灯油が実施されます。町民税非課税世帯約1000世帯が対象となります。  
「二世帯5000円の灯油券助成」

### 日本共産党女川町議

高野 阿部 律子 博



一月三日、日本共産党の高野博町議と阿部律子町議は、街頭から新年のあいさつを行いました。

昨年は、米国発の金融危機により大変な経済危機に落ち入りました。カジノ経済の失敗のツケを非正規労働者に押し付けるやり方に多くの国民が心を痛めています。

両町議は、「人をモノのように使い捨てにする、異常な日本のルールなき資本主義をただし、人間が人間らしく生きられる社会にするため、皆さんと力を合わせてがんばります」「プルサーマルは許さない」と、力強く町内十二個所で訴えました。

仕事、生活の悩み、一緒に解決しましょう  
相談はどんなことでも  
日本共産党へ(無料)

### 女川原発 プルサーマルと二ヶ月に三度の火災とは

#### 町民の声・声

消防車の音が聞こえると、また原発で火災かと思いい、ドキツとしてしまいます。あまりに火災が続くので、原発そのものに不信感を抱いています。

またか、もういいかげんにしてくれという気持ちです。女川町民としてはすかしいです。小さなミスの繰り返しですが、やがて大きな事故につながるのではと、不安でいっぱいです。もう原発いらぬ。止めた方がいいんじゃない。プルサーマルどころじゃないよ。原発動かす資格ないんじゃないの、私は絶対反対だよ。



### 病院対策特別委員会の動き

町議会病院対策特別委員会（高野博委員長、15委員）が十二月十八日に開催されました。町当局から、三月まで策定する町立病院改革プランの素案が報告されました。

素案では町立病院を町民の「かかりつけ医」と位置づけ、現状の診療体制を確保しながら、広域医療圏の中で、急性期をすぎた患者の医療の提供、へき地医療や初期の被ばく治療などを行うことが明記されました。計画期間は平成二十一年度から五年間で、二十三年度までに経営効率化を図るために、目標の数字も掲げました。

一般病床（50床）療養病床（48床）の利用率はなんと目標を達成していますが、一日あたりの外来患者数を2倍以上に目標を設定するなど実現に向けて本格的な取り組みが求められています。また、常勤の3人の医師確保が何より急務になっています。

この計画では二十三年度まで、毎年4億から5億円になっている一般会計からの負担の考え方を明確にし、1億円ほどを圧縮するとはしました。

経営形態の見直しは、地方公営企業法の全部適用 指定管理者制度 地方独立行政法人（非公務員型）を選択肢に検討するとしています。委員から、「町立病院として存続を」という意見もありました。町当局より一月中旬素案の住民説明会を行う計画です。

# 十二月議会報告

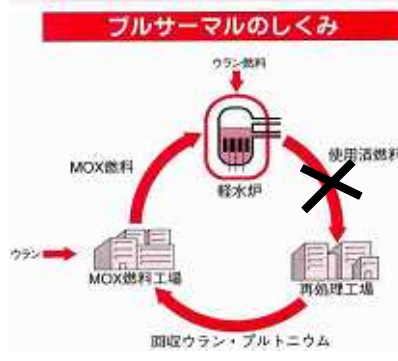
十二月定例議会は十二月十五日から十七日まで開催されました。



## 高野 博町議の一般質問

高野博町議は、まず、政府が「原子力大綱」の中で、「プルサーマルの使用済み燃料の処理処分については、2010年以降検討する」とし、つまり現在プルサーマル使用済み燃料の処分の方針がまったく決まっていなことを指摘しました。ですから、いったんプルサーマルを行えば、猛毒のプルトニウムなど超長寿命の放射性物質がいっぱい詰まった使用済みMOX燃料の行き先がなく、女川原発サ

### もしプルサーマルが行われたら、猛毒のプルトニウムなどが女川原発敷地に半永久に保管・貯蔵されるのではありませんか。



1回しかリサイクル出来ません。使用済みMOX燃料用の第二再処理工場はまだありません。×です。「広報おながわ12月号」の図は不正確です。

イトに半永久的に保管を余儀なくされるのではないかと。2010年までにプルサーマルを導入することは「トイレなきマンション」という原子力行政の失敗の轍(てつ)を踏むことになる、子や孫に負の遺産を残していいのかと、厳しく指摘しました。

## 人材育成支援事業の改善を

続いて、平成十六年度から始まった人材育成支援事業の実態を質し、なぜボランティアでシカの駆除をする人たちにこの人材育成支援事業が適用できなかったのかとたどりました。もっと広く活用できるように制度の見直しと周知徹底を求めました。



## 阿部律子町議の一般質問

安心して住み続けられるために

## 町営住宅の家賃減免制度の適用を

阿部律子町議は、「町営住宅(浦宿第一、第二)の建替計画に合わせて、着々と準備を進めていることと思いますが、アンケートの結果を見ても、入居者の多くが高齢者や無職となっており、家賃が高くなることでの生活苦を心配する声が届かれます。

町営住宅条例15条で家賃の減免又は徴収猶予が記されていますが、対象者がきちんと申請できるように周知徹底を図るべきではないでしょうか

と質問しました。町当局は「要綱を作成し、入居者に対し、周知を図ります」と前向きに答弁しました。

## 今年も福祉灯油の実施を

また、「景気の悪化が深刻化している今日、一日も早く福祉灯油の実施を決定すべき」と通告したところ、補正予算に出されたことは評価します。昨年度は申請者

## 若者の雇用への助成を

また、外需頼みから内需主導に日本経済を転換させるためにも、深刻な若者の雇用への助成を検討し、未来に希望をつくるべき、と提案しました。

## 町当局の回答は

町当局は「使用済みMOX燃料の処分については、2010年以降検討する。国に確認していく。またシカ対策の件は別途予算をつける。人材育成事業は使いやすく見直す。雇用対策は企業誘致の中で実施している」と答弁しました。

が6割台だったことから、今回は対象者全員に助成するしくみを検討するように」と、求めました。

町当局は「地域の集会所での受付や回覧板の利用、民生委員の協力等で周知を図ります」と、答えました。

## 学校・保育所にヨウ素剤の配布を

さらに「全国的にも、ヨウ素剤配備の考え方が前向きになってきています。新潟県柏崎市や、佐賀県唐津市等で小中学校へ分散配備しています。原発に対する不安が多く出されている今こそ、万が一に備えて、学校や保育所にヨウ素剤の配布を」と、訴えました。町長は、「劇薬なので、良い方法が可能か、つめていかな」といけな」と答えました。

## 世論になりました 「内部留保を使えば、雇用守れる」

日本共産党笠井議員の主張に麻生首相も否定できず、政府首脳も言及し、メディアはいっせいに報道

一月九日の衆院予算委員会で共産党の笠井亮議員は、非正規切りを許さない緊急措置と、日本経済の前途のためにも、大企業の内部留保活用などで雇用を確保することを強く求めました。

1999年から2007年までに派遣労働者が、107万人から384万人に激増しています。一方で、大企業が内部留保を、60兆円も増やしていることをパネルグラフで提示。

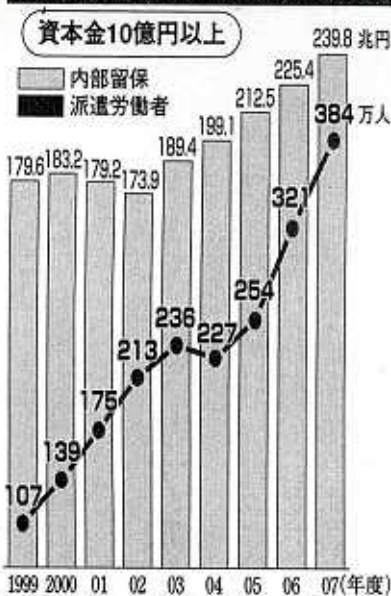
笠井議員は「内部留保は、派遣労働者らの血と汗と涙のため込んだものです。そのわずか0.2%を回せば、(三月までに解雇される)8万5千人の正社員化も可能です。内部留保を活用して雇用確保に努めるよう企業に働きかけるべきです」と追及しました。首相も官房長官も企業側に要請を強めていくことを明らかにしました。

## ひろば



定額給付金について、朝日新聞の世論調査では63%の人が「中止を」と、「政府の方針通り配った方がよい」の28%を大きく上回っています。国民は選挙目当てのばらまきという正体を見抜いているのです。国の財政が窮迫している時、2兆円もの大切な税金をどう使うのか国民はまじめに考えています。いま、最大の課題は社会保障費2200億円の削減をやめること、医師不足対策、後期高齢者医療制度の廃止、介護職員の待遇改善、雇用の確保、少子化対策にもっと力を入れて欲しいと、もはや自公政権は国民の気持ちを理解できないのです。まして3年後の消費税増税とは、政局中心の民主党に、少なくない国民は批判の目を向けています。ひたむきに国民の苦難軽減にがんばる共産党に注目と期待が集まっています。朝日新聞一月十一日付の1面2面を御覧下さい。

## 大企業の内部留保と派遣労働者の推移



出典：財務省「法人企業統計」 厚生労働省「労働者派遣事業の事業報告集計結果」

# 女川民報

日本共産党女川町委員会の見解と政策を紹介いたします。

2009年  
5月号  
日本共産党  
女川町委員会  
(53)3614  
(54)2562  
ご意見・ご要望  
をお寄せください

## がんばって、事態を切り開いてきました

### みなさんと力あわせて、日本共産党も全力投球

#### 介護新認定、導入直後見直し

阿部律子 町議 「重度の寝たきりが、自立になる」と告発して

3月議会で阿部律子町議は、介護認定が大きく変わ



り、寝たきりの人が「自立」にされかねないと警告。多くの共産党議員が全国で取り上げました。国会で小池晃衆議員が、適正化で削減される給付費の額を列挙した厚労省の内部文書を暴露。そして暫定的に、希望すれば従来の要介護度を継続できることになりました。

#### 川尻急傾斜対策(人工の崖分を)、町単独事業として

高野博 町議 区長もな役員の皆さん町長に陳情して

国が「人工の崖だから」一番対策を望んでいた所で、急傾斜対策事業に認められた。清水一区の区長さんなかつた箇所こそ、住民がや役員の方、関係者が町長

に陳情。2年間の町単の継続事業で、防護壁を設置することになりました。



#### 若者定住住宅、今年も増設します

##### 総務企画常任委員会も下條村を視察しました

人口減少の対策として、06年、阿部律子町議と高野博(前町議)が長野県下



條村を視察し議会で提案。07年度、総務企画常任委員会が正式に下條村を視察し、若者定住住宅の建設を検討すべきと報告書を出しました。町当局は、長期発展計画の中で、若者定住の格安な住宅を提供するため、町内に6棟12戸の建設を計画し、昨年清水地区に、今年も大原地区に建設します。この度四世帯が応募し抽選で二世帯が決まりました。

低所得者で緊急的、一時的に生活維持が困難な世帯に

#### 貸付限度額十万円

#### 「緊急小口資金」制度が実現しました

生活・法律相談をしていると、多くの方が多重債務で苦しんでいることに気づかれます。これまで、県の「生活と健康を守る会」の方々と一緒に、県との交渉や県社会福祉協議会に申し入れを行い、やっと実現しました。医療費で突然の出費など困った時にこの制度を活用してください。

#### 公立病院をつぶすな

##### 政府「ガイドライン」押しつけ

総務相「義務でない」と認める



日本共産党の高橋ちづ子議員は20日、衆院予算委員会で、政府・総務省が作成した「公立病院改革のガイドライン」によって全国の自治体病院で病院閉鎖や病床削減が加速している事態を告発し、「ガイドライン」の押しつけを止めるよう求めました。

「ガイドライン」は、2007年に閣議決定された「骨太方針」に明記され全国の自治体に公立病院の「経営効率化」の数値目標を入れた「改革プラン」を今年三月までに策定することを求めています。

高橋氏は、27の県立病院・診療所を持つ岩手県は四国に匹敵する広さや、入り組んだ海岸、山間部など地理的・経済的条件があり、県立だからやってこられた歴史の経緯があると紹介。「ガイドライン」に基づき、県が急激な病床削減・無床化計画を強行したり、自治体が「3年間で黒字化」などの無理なプランを作っているとして、「ガイドライン」は義務なのかとただしました。

鳩山邦夫総務相は、「地方自治法上は、技術的な助言。単なる指針だ」と義務ではないことを認めました。麻生太郎首相も「ガイドライン」について「地域において医療提供体制の確保を図ることと明示してある」と述べ、「損益だけのものではない」とこたえました。

また、高橋氏は、無床化された宮城県登米病院では、病床がなくされ46人の入院患者が病院を迫られ、自宅に帰って亡くなった人や、救急車で遠くの病院に運ばれた結果、亡くなった人が出ていると告発しました。

病院が有床診療所に変えられると、医療機関に支払われる診療報酬点数が下げられるため、すぐに「無床化」されてしまいます。高橋氏は、「診療所になっていざいれも報酬単価が三割減となっている」ことを指摘。「地域の事情に沿って診療所でも必要な医療が提供できるように報酬上も評価すべきではないか」とたどしました。

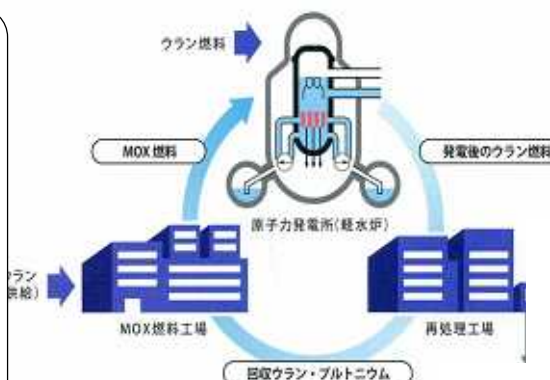
舛添要一厚生労働相は、「有床診療所は地域で重要な役割を果たしている。実情を考えたから、診療報酬改定時に正当な評価ができるようにしていきたい」と表明しました。

(2009年2月21日(土)「しんぶん赤旗」より転載)

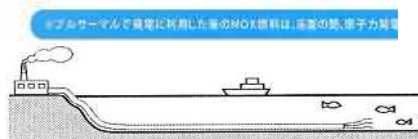
# 二重三重に危険を押し付ける プルサーマル導入は許さない

## リサイクルという「罠」

孫子の代まで「負の遺産」東北電力のパンフでは「プルサーマルで発電に利用した後のMOX燃料は、当面の間、原子力発電所で保管する」と説明。使用済みMOX燃料の処理・処分方法が未定の



東北電力のパンフより



まま見切り発車しようとして見ます。見通しのないまま強行すれば、リサイクルどころか、猛毒のプルトニウムや高レベルの廃棄物が女川のサイトにたまる一方で、孫末代まで「負の遺産」を残しかねません。

## 二陸の海が汚染される

岩手や宮城の漁民が「海が汚染される」と危機感を持っています。プルトニウムを取り出す再処理工場から、トリウムやヨウ素、セシウム

岩手や宮城の漁民が「海が汚染される」と危機感を持っています。プルトニウムを取り出す再処理工場から、トリウムやヨウ素、セシウム

## まともな安全確保が先です

いつ重大な事故が起きても不思議ではない事態です。原発事故は、広大な地域に大惨事をもたらします。火災が相つき、社員が誤操作をし、制御棒の誤作動

## 住民の要望が数多く実現(平成二十一年度予算)

平成二十一年度一般会計予算には、これまで人口減少に歯止めを提案してきた若者定住住宅や、懸案の川尻地区の急傾斜崩壊対策事業、また妊婦健診14回分の全額助成、肺炎球菌ワクチンへの助成など、そして漁業共済加入促進事業への助成や

無料法律相談事業の実施など、これまで私たちが一般質問などで取り上げ、要請してきたものが、形として表れています。

また、プルサーマルについては慎重に対応する考えであること、町立病院についても診療所化はしない、病院を守るという真剣さが

## 子どもから保険証を取り上げるな



高野 博町議

全国的に子どもが無保険状態が大問題になりました。本町では国保税の納税相談に忙しい世帯に対し、保険証の「留置き」という措置が講じられています。「留置き」の世帯に子どもは

## ゴミの減量・雑紙の収集などに力を



阿部律子町議

「CO2を削減し、地球温暖化を防止するためにも、ゴミの減量は重要な施策です。特に昨年4月からの燃えるゴミから雑紙を区別することに力を入れた

## 太陽光発電に助成を

「世界的にも低炭素社会への取り組みとして、自然エネルギーへの考え方が広がっています。本町でも独自に助成しては」と提案しました。

## 介護保険料の値上げに反対しました

「毎年収入が減少する中、3年ごとに値上げされるこのしくみはもう限界です。国庫負担割合を引き上げるとともに、本町では「福祉の心」を持って一般会計から繰り入れを行い、値上げを抑えるべきです」と反対をしました。

## ひろば



飛び上がるほど嬉しいことがありました。アメリカのオバマ大統領から日本共産党の志位和夫委員長に、先に送った書簡に対する返書がきたのです。4月5日、オバマ大統領はブラハで「核兵器のない世界をめざす」と演説しました。4月28日、志位委員長が敬意を込めて「核兵器廃絶のための国際条約の締結をめざして、国際交渉を」と書簡を送りました。返書は「思慮の富んだあなたの書簡に重ねてお礼を申し上げます」との言葉で結んでいます。5月17日にはノーベル平和受賞者17人が「ヒロシマ・ナガサキ宣言」を発表しました。いまこそ、被爆国・我国で憲法9条を守り核兵器廃絶を願う世論を結集する時です。

# 女川民報

2009年  
6月号  
日本共産党  
女川町委員会  
(53)3614  
(54)2562  
ご意見・ご要望をお寄せください

## 6月議会報告

# 危険がいっぱい、無謀なプルサーマル計画の中止を

東北電力が戸別訪問を行い、さらに地区説明会を行っています。そこで、プルサーマルの問題点を特集しました。

### 使用済みMOX燃料は女川に長期保管？

私たちは、女川でいったんプルサーマルを受け入れたら、いまよりもっと汚い、行き場のない使用済みMOX燃料が、女川原発に長期間保管されるのではないかと、心配しています。

東北電力はある会合で「20年間ぐらいは安全に保管できる」と説明しましたが、それ自体大変なことです。

政府の原子力政策大綱では「(処理は)2010年ごろから検討を始める」とし、原子力立国計画では「使用済みMOX燃料は高速増殖炉用として保管する」としています。



このように使用済みMOX燃料の行く先は、現在何も決まっていないのです。高速増殖炉の原型炉であ

### リサイクルというが、わずか1〜2割の節約？

政府の原子力大綱でプルサーマルにおいて「ウラン資源の1割から2割の節約効果」とされています。しかも、プルサーマルで使った燃料は一回限りということです。

ましてウランの使用済み燃料があり余っている現状で、高い費用をかけてまで使用済みMOX燃料をもう一度再処理し、再利用するのでしょうか。

### 超ウラン元素から放射線、労働者の被曝が心配

MOX燃料の中では、ガンマ線や中性子線を出す超ウラン元素や専門家が「ダーティ」と呼ぶ厄介なプルトニウムが次々つくられます。これでリサイクルと言えるのでしょうか。

### 重大事故が起きれば、被害は甚大に

「MOX燃料はアメリカシウムという放射性物質を含んでおり、このアメリカシウムがガンマ線を出すことから、MOX燃料はウラン燃料に比べて放射線の量が多くなります」と、中部電力

### 事業者は「MOX燃料は焼結されており、粉状になつてサイトの外に運ばれていくことは、実質的にありえない」と説明します。

米核管理研究所のライマン博士は「米国では、原発の重大事故は、大きな放射能放出につながり、何十人もの急性死や何百何千人もの潜在的ガン死をもたらす可能性があることは、よく理解されている」と述べ、「臨界事故は慢心から」「同じようなばかげた態度が日本の原子力計画から原発の規制にいたるまで蔓延している」と指摘します。

### プルサーマルって・町民の声・声



事故やトラブル続きで・・・なんだかわからないけど、おっかないから・・・

よそでやっているといつても、私はいやです。

(あまりにもトラブルが多いから)

資源再利用といつても、使い捨ての一回限りと聞いたよ。あとどうすんだろっね。

私は「安全、安全」と

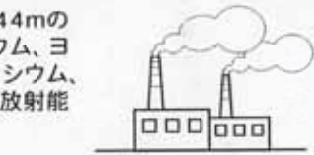
いっちはどうかと思う。安全かどうかより、子供たちに「負の遺産」を残してはだめだと思つよ。原発つくる前に、道路を解決すべきだったんだ。

当時の町議会議員が悪かつたんだ。

原発の中で働く人が、よけい放射能にさらされるんではないのかなあ。

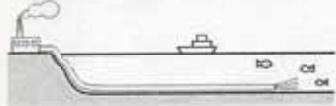
説明聞いても本当、わからない。でも町民にはなにもメリットないよ。海は昔と変わったよ。

### 六ヶ所村再処理工場から、空に海に放射能が放出されて



### 再処理工場は 原発1年分の放射能を1日ですす

海へは、六ヶ所村沖合3km、水深44mの海洋放出管の放出口から、トリチウム、ヨウ素、コバルト、ストロンチウム、セシウム、プルトニウムなど、あらゆる種類の放射能が廃液に混ざって放出されます。



空へは、高さ150メートルの排気筒から、クリプトン、トリチウム、ヨウ素、炭素などが大気中に放出されます。

原発であれば申請段階で操業出来ない量ですが、海水や大気の中で薄まるという理由で許可が出ています。

上の図は、原子力情報室・美浜の会の資料を参考に、全国のサーファの皆さんが作ったチラシの一部です。事業者は「基準値以内で放出している」としていますが、放出された放射性物質には半減期が長く、蓄積されるものもあり、英国やフランスの再処理工場からの汚染の実態を知れば、漁民のみなさんの不安は当然です。



### 阿部律子町議

#### 側溝清掃の負担軽減を

各行政区において、毎年行われる側溝清掃は、高齢のために参加する住民の方も年々少なくなり、一部の人に大きな負担がかかってきています。石巻市では業者委託した場合一部補助をしていますが、検討会をもうけて、実態を話し合い、今後のあり方について、より良い方法を見い出す努力を

#### 通学路の安全対策

巨大地震に備え、子どもたちの安全対策として、通学路における危険なプロック塀の点検は十分ですか。持ち主の事情で撤去できない場合は町で対策を検討されてはいかがですか。



### 高野 博町議

#### 地震計設置場所の変更を

防災の基本は、町の情報への信頼が基本と考えます。ところがテレビ等から報道される本町の地震の震度は、町民の実感とは大きくかけ離れ、小さくなっていくと、数多く苦情が寄せられています。役場の地震計は岩盤の上で、小さく震度が出てしまうとしたら、地震計の設置場所を変更する

#### 「夕暮れ診療」を検討しては

秋田県横手市大森病院では、「夕暮れ診療」を実施し、赤字経営を黒字に変えたと、新聞で紹介されました。医師確保のためにも、町立病院でも実施を検討すべき時期ではありませんか。

#### 議員定数は慎重に

##### ― 私たちの主張 ―

議会改革特別委員会、議員定数問題が議題になりました。

木村公雄委員長からアンケートの調査や意見交換の方法が提案されています。

私たちは「住民懇談会で削減や現状維持、増員もという意見まで伺いました。

いま議会は、議会・住民懇談会や反問権など、住民に開かれた、議員としての資質の向上をはかっているとして時です。今後執行部の提案に、修正提案するとか、議会から条例の制定を行うなどの力量が求められます。原発や地震対策などの課題も念頭に、慎重に検討すべきです。まず議会改革の内容を町民に伝えて欲しい」と述べました。

#### 日本には「安心と希望」の選択肢があります。それが日本共産党です。



日本共産党 高橋千鶴子  
新型インフル対策、保健所の体制抜本強化求める/5月11日

「命綱」子員  
のつ議 北  
らち院 東  
橋議 比  
東北の「暮ら  
高衆 ( 比 例 )

雇用破壊とのたたかいは、日本の経済社会のあり方を根本から問うものになりました。無法な「派遣切り」に泣き寝入りせず、立ち上がった労働者のたたかいが、企業と行政を動かしています。

労働局による是正指導・助言は20件を突破し、直接雇用や正社員化を勝ち取るケースが相次いでいます。

働く人々の「安心と希望」になるため頑張ります。

#### 財界に道理をいって、ものが言える党は、日本共産党

- ・消費増税にストップを
- ・医療・介護・福祉の充実を
- ・無謀なプルサーマル計画の中止を

#### 憲法改正の国民投票名簿作成の予算には反対

6月の一般会計補正予算の内容について、カキ処理の衛生設備事業への補助や旧幼稚園跡地の活用に対する予算等については当然賛成です。しかし、問題は憲法改正のための準備として名簿作成をする予算が含まれており、これについては国民が望んでもいないのに貴重な税金を今すぐ使うことには納得がいかないと、反対しました。



#### ひろば



6月町議会です。さか、憲法改正のための国民投票の名簿作成費用予算168万円が計上されるとは思いもせませんでした。あの太平洋戦争の時も、戦争の準備はこうして何気なく行われてきたのでしようか。忍び寄る戦争の足音。私たちは、ここは絶対に譲れないものがあると反対討論に立ちました。しかし、もう一方、女川町議会では「非核日本宣言」を求める意見書が全会一致で議決されました。宮城県で同趣旨の意見書が石巻市、角田市、丸森町、七ヶ宿町、松島町、大河原町、蔵王町、柴田町と合計9議会で可決されています。確信を持って力をあわせ、戦争への道を阻止しましょう。

# 女川民報

2009年  
9月号  
日本共産党  
女川町委員会  
(53)3614  
(54)2562  
ご意見・ご要望  
をお寄せください

## 9月議会報告

9月議会は9月3日から11日まで開催され、平成20年度の各種会計決算審査が行われ、第三小学校と第六小学校、第四中学校の統廃合が議題となりました。新たに教育委員に丸岡泰氏が決まりました。

# 国保の一部負担金(窓口負担の)減免制度 拡充と積極的な活用を—阿部律子町議—

## 町長—「実態に即し、利用しやすいものに改善する」と答弁



阿部律子町議は一般質問で、国保の一部負担金の減免制度の拡充と活用を求めて、質問しました。

「昨今の急激な経済不況による、雇用破壊や所得の低下で、国保税や医療費一部負担金(窓口負担)の支払いが、困難な方がさらに増えることが懸念されています。厚労大臣は、国保の一部負担金減免に国が二分の一補填する考えを表明しました。こうした中7月1日付けで厚労省が国保の一部負

担減免の積極的活用を求め、通知を出しました。本町の減免条件は災害にあつた時や世帯の収入が半額以上減収した時と条件が厳しすぎます。そこで、本町の実態を伺い、一部負担金減免の拡充と積極的活用を求めます」と、たがしました。

町長は「実態に即し、他の自治体の例も参考に、利用しやすいものに改善したい」と答弁しました。

### 平成二〇年度一般会計決算に反対討論

高野博町議は平成20年度一般会計決算に反対しました。第一に、八千五百万円の金華山航路補助金は深刻な政治不信を生み出しました。

私たちは、1隻体制で始め、必要があれば県の融資で2隻目を用意し、当面、離島航路「しまなぎ」の活用を検討してはと指摘し、適正な行政執行を求め棄権



「プルサーマル学習講演会」石巻で63人、女川で56人の参加。館野淳先生は、トラブル続きの電力会社に、毒性の強いプルトリウムを取り扱わせてよいのかと問題提起をし、プルサーマルはリサイクルにはならず、「愚かな利用」と語りかけていました。

### 国民の運動と世論が 政治を前に動かす力です

衆議院議員 高橋 ちづ子(談)

自公政権が退場し、後期高齢者医療廃止や母子加算復活、派遣法改正や障害者自立支援法「応益負担」の廃止、高校授業料無料化など、これまで国民のみなさんが運動してきた課題に、政治の光が当たりだしました。絶好のチャンスです。声を上げれば政治を前に動かせる新しい時代です。共に頑張りましょう。

しました。しかしこれらの提案はことごとく退けられました。第二に、国保税の値上げは認められません。六千万円もの多額の不用額を出し、値上げした根拠は全くありません。値下げさえ出来たはず。第三に、東北電力の安全管理体制に重大な欠陥があります。火災の連続発生、制御棒の誤作動など由々しき事態です。東北電力にプルサーマルを語る資格はありません。慎重派の科学者の意見も聴取できる、原発問題検討会議の設置を改めて求めます。若者定住住宅など評価を惜しみませんが、以上反対討論といたします。

議員定数削減(2減で)次回から定数14に日本共産党の見解は

9月28日議会改革特別委員会が開催され、賛成多数で次回町議選

から2減で定数が14に決まりました。日本共産党の阿部律子町議は、前回と異なり、「いやみくもに減らせばいい」というものではない、今回の町民から何が何でも減らせという声は少なかつた。原発があり、離島半島を抱え、町民の声を反映させるためにも、現状で行くべきと主張。高野町議も、議会は基本条例をつくり、議案提案の出来る議会に。そして、人口減少に歯止めをかける政策提言など積極的に行い、住民の願いにこたえるべき。現状の定数で前向きに取り組むべきだと、主張しました。しかし採決の結果、削減する方向が決まり、どれだけ削減するか議論になり、私たちの1減を提案採決の結果10対4で2減となりました。厳しい結果ですが、みなさんの声を議会に届けるため、がんばります。

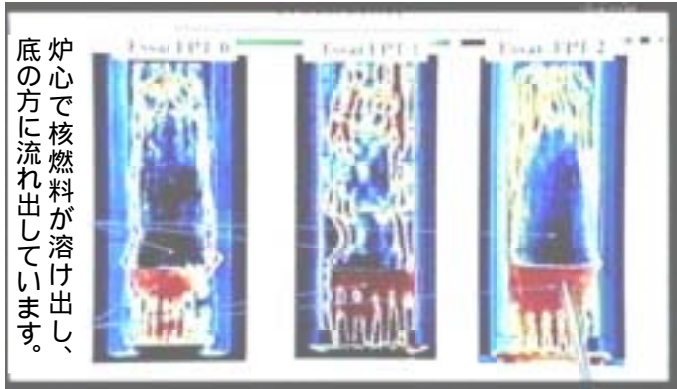


# 日本では重大事故（苛酷事故）対策は事業者任せ 最悪を想定し、国はきちんと安全審査を行うべき



高野 博町議

左の写真は炉心が溶け、格納容器が圧力で破壊される実験の様子です。NHKBS1で7月7日に報道された「問われる原発の安全性」（フランス製作）の映像の一部です。



炉心で核燃料が溶け出し、底の方に流れ出ています。

＜IAEAの区分＞		事故状態	
運転状態	予想運転事故	事故	シビアアクシデント
通常運転	運転時の異常な運転変化	事故	シビアアクシデント
＜日本の区分＞		異常状態	
通常運転	異常状態	事故	シビアアクシデント

「日本では苛酷事故（炉心損傷に至る事故）は起こりえない」とする「安全神話」こそ重大です。

80年初、2800 で炉心溶融すると考えられていたが 600 で溶融が起きることがわかった。



2001年アメリカで行われた実験。

東北電力には、保安規定さえ守れない安全管理上の重大な欠陥があること。世界中で原発の炉心溶融や格納容器破壊などの苛酷事故を想定し訓練を行っていること。日本では苛酷事故対策は事業者任せになって、国は安全審査さえ行っていないことを告発し、住民の安全を守る立場で、こうした問題を国と電力にたすべきと、質しました。町長は全国原子力所在市町村会議でも議論していきますと答弁しました。

## 無料低額診療事業の活用を

格差が拡大し、年収200万円以下の世帯が1千万を超え、医療費が払えず医者にかかれぬ人がどんどん増えています。厚生労働省は、低所得者に対し、無料低額診療事業の活用を提起しています。町立病院でこの事業を行えないか、また積極的に活用するよう制度の紹介すべきと質問。町長は制度の紹介は必要と答えました。

## 太陽光発電施設に助成を

（再生可能エネルギーの普及は地球環境を守る上で決定的です）国は太陽光発電の買取制度を行い、県は補助制度を設け、石巻市も補助を行っていきます。本町でも検討すべき時期ではありませんか。町長は慎重に検討したいとの答弁でした。

## 七五歳以上のお年寄りの医療費を無料に



阿部律子町議

高齢者にとって唯一の収入源である年金は、毎年削られています。その上、介護保険料や後期高齢者医療の保険料などの支払いで、生活は苦しくなる一方です。子どもとお年寄りの医療費を無料

化する事は国の制度として一日も早く実現を望み、東京都の日の出町のように75歳以上の医療費無料化や人間ドック受診料無料化の考えはと質しました。町長は現時点では無理と答弁しました。

## 値上げした国保会計決算に高野博町議が反対討論

町民は国保税の値下げを強く求めています。国保は構造的な問題を抱え、低所得者も中間層も重い負担にあえいでいます。六千万円不利益を出し、値上げをしたことに反対します。

## 後期高齢者医療会計決算に阿部律子町議が反対討論

全国の高齢者団体や医師会などさまざまな団体から猛反発を受け、政府も何度も見直しせざるを得なかった、この制度。関係者の労苦を多としますが、高齢者を狙った差別医療で、私たちは廃止を求め、反対します。

## 女川原発1号機トラブル続きで「A評価」とは

保安院が1号機の定期安全管理審査に対し「A評価」を通知しました。一方、保安院は、緊急炉心冷却装置の一部で作動しない危険が放置されていたとして、東北電力に保安規定違反と是正を求めました。トラブル続きで町民がこんな評価を納得できるでしょうかと、町長の見解を求めました。町長は、電力にきちんとモノを言ってきたと答弁しました。

## ひろば



とつとつ第二小学校も、第六小学校や第四中学校も廃校となり、一小、二小、一中に統合されることになりました。地域から学校がなくなる辛さ寂しさはひとしおです。子どもたちのため「適正規模」の学校で学ばせる方がよいと説得されると、そうかなとも思います。本町にそうでしょうか。世界中で「小規模学級」で、一人ひとりに行き届いた指導をと取組まれている時に、我が国では財政上の理由で子どもたちが翻弄されているようになりません。長い通学時間疲れを起こさないか心配です。統合に伴う問題に気を配ってまいります。いづれにしても、わが町は原発が3機も建ち、人口が増えるどころか、人口減少率は県下トップクラスです。原発依存でなく、地域の産業を大切にしたい町づくりに転換しなければ、子どもたちのにぎやかな声は消えていくのではないのでしょうか。分校が廃校になった高白では、来年から入学する子どもたちが元気に遊んでいるそうです。漁業で生計を立てることが出来るのであれば、道は開けると確信しています。